

資料1-1

2021・2022年度に開催した事業（2022年3月～2022年7月）

体験講座2件、大学連携2件、ブース出店1件

種別		事業名	会期	開催場所	来場者数等	担当学芸員
体験講座	1	吹きガラスに挑戦! in 芹ヶ谷公園	2022年4月2日(土)、24日(日) (1日3回×2日) ※当初予定していた4月3日(日) は雨天のため、4月24日に延期	芹ヶ谷公園 多目的広場	参加者 18人 見学者含む 1,294人	朝倉・齊藤
	2	スープ皿を作ろう	2022年7月18日(月・祝) (1日2回)	三輪コミュニティセンター	未集計	高橋・新井
大学連携	1	桜美林大学 学生対象 「岩田色ガラスの世界ー岩田藤七・久利・糸子ーベストセレクション」展 案内ハガキデザインコンペ	2022年7月1日(金) ～8月12日(金) (募集期間)	—	—	高橋・齊藤
	2	玉川大学 連携事業成果発表会 (仮称) 町田市立国際工芸美術館のミュージアムグッズ制作及び仮想VRミュージアムショップ構築によるプレゼンテーション	2022年4月15日(金)、出張講義 7月15日(金)、発表会	4月15日: 玉川大学 7月15日: 町田市立国際版画美術館 講堂	4月15日: 出席19人 7月15日: 未集計	齊藤・新井
ブース出店	1	町田さくらまつり	2022年4月2日(土) ※4月3日(日)は雨天のため 不参加	芹ヶ谷公園 多目的広場	1,153人 ※体験講座見学者含む	朝倉・齊藤

資料1-2

2021・2022年度に開催した事業（2022年3月～2022年7月）

●体験講座

(1) 吹きガラスに挑戦! in 芹ヶ谷公園



炉内で熔けたガラスを取り出す



息を吹き入れてガラスを膨らませる



回しながら形を整える

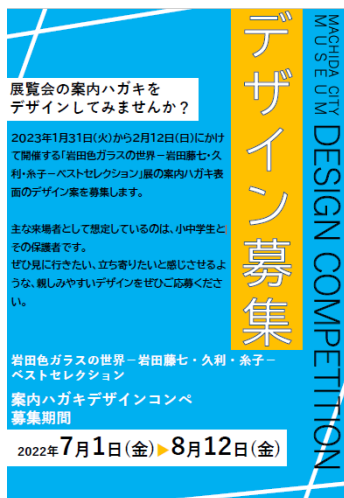


大勢の見学者

●大学連携

(1) 桜美林大学 学生対象

「岩田色ガラスの世界ー岩田藤七・久利・糸子ーベストセレクション」展
案内ハガキデザインコンペ



デザイン募集のポスター



昨年度に採用されたハガキデザイン

(追加) 資料1-3

2021・2022年度に開催した事業(2022年3月～2022年7月)

●大学連携

(2) 玉川大学 連携事業成果発表会



発表会の様子(町田市立国際版画美術館講堂)



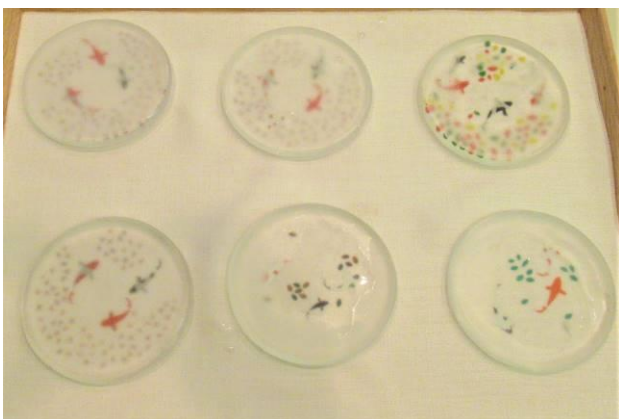
班ごとにパワーポイントで発表



博物館からの質問と講評



作品①「吉祥文様入りの木製スプーン」



作品②「変化するガラスのコースター」



作品③「収納×おもちゃ TOY TREE」

資料2-1
2022年度中に開催予定の事業(2022年7月～2023年3月)

展示3件、体験講座8件、ブース出店1件

種別	事業名	会期・開催場所	企画概要	関連事業(予定)	印刷物	担当学芸員
展示	1 【パネル展】 (仮称) 町田のお酒×酒器 —町田市立博物館所蔵品より—	2022年12月27日(火) ～2023年1月22日(日) 町田市立中央図書館 展示コーナー	「町田市名産品」に認定されたお酒などとともに、町田市立博物館が所蔵する陶磁器・ガラス作品を市内外に広く紹介する。また作品が実際に使われる姿を示すことで、工芸作品の持つ実用性にスポットを当て、工芸美術への理解と関心を深める。 協力：町田酒販協同組合	○お酒と酒器(博物館所蔵作品)を共に撮った写真を掲載した小冊子を作成、配布 ○工芸美術PRパンフレットを配布	○チラシ(庁内印刷) ○小冊子(外注)	新井高橋
	2 岩田色ガラスの世界—岩田藤七・久利・糸子— ベストセレクション展	2023年1月31日(火) ～2月12日(日) 町田市立国際版画美術館 市民展示室A室	町田市立博物館所蔵の岩田藤七・久利・糸子の作品約20点を展示する。2021年度に実施した巡回展「岩田色ガラスの世界」の凱旋展として開催する。 また大学連携事業としてDMハガキのデザインは桜美林大学の学生を対象にコンペを実施する。 協力：町田華道協会	○博物館所蔵作品を使った、町田華道協会によるいけばな ○工芸美術PRパンフレットを配布 ○工芸美術館整備に向けて、アンケートを実施	○DMハガキ(外注)	高橋齊藤
	3 【パネル展】 体験講座成果展2022	2023年3月6日(月) ～17日(金) 町田市役所イベントスタジオ	2022年度に開催した体験講座について、参加者が制作した作品および制作風景などを、写真パネルで紹介する。本庁舎イベントスタジオで展示を行い市内に広く紹介する。町田市が所蔵する工芸美術作品の魅力を紹介し、工芸美術館整備事業をPRする。	○工芸美術PRパンフレットを配布	○チラシ(庁内印刷)	新井齊藤
体験講座	1 子どもセンターでガラス体験	市内子どもセンター5か所にて開催(1日2回×5日) 2022年7月28日(木) ばあん 7月29日(金) つるっこ 8月19日(金) まあち 8月22日(月) ばお 8月25日(木) ただON	ガラスのコップにペン型の回転工具で各自の好きな文様を彫り、ガラスの硬さや素材としての面白さを体験する。 子どもを対象とし、「子どもと体験」をキーワードにしている(仮称)町田市立国際工芸美術館整備への期待感を高めることを目的とする。	○工芸美術PRパンフレットを配布 ○工芸美術館整備に向けて、アンケートを実施	○チラシ(庁内印刷)	高橋齊藤
	2 ガラスに彫ってみよう!	2023年1～2月(1日2回×1日) 町田市立国際版画美術館 アトリエ	ガラスのコップにペン型の回転工具で各自の好きな文様を彫り、ガラスの硬さや素材としての面白さを体験する。 博物館・美術館になじみのない市民にも気軽に参加していただくとともに、町田市が所蔵する工芸美術作品の魅力を紹介し、工芸美術館整備事業をPRする。	○工芸美術PRパンフレットを配布 ○工芸美術館整備に向けて、アンケートを実施	○チラシ(庁内印刷)	高橋齊藤
	3 吹きガラスに挑戦!	2022年9～10月(1日3回×1日) 芹ヶ谷公園 多目的広場	車に積んだ移動式の炉を持つ作家の協力の下、吹きガラス制作を体験する。 美術工芸になじみのない市民にも気軽に体験できる機会を提供し、工芸美術館整備事業に対する期待感を高める。	○工芸美術PRパンフレットを配布 ○工芸美術館整備に向けて、アンケートを実施	○チラシ(庁内印刷)	高橋齊藤
	4 ガラスフュージング体験 ①ガラスフュージングでストラップを作ろう ②クリスマスツリーのブローチづくり ③ガラスフュージングで皿づくり	①ストラップ：2022年8月2日(火) (1日5回×1日) ②ブローチ：2022年11～12月 (1日5回×1日) ③皿づくり：2023年1～3月 (1日3回×1日) 町田市立国際版画美術館 アトリエ	ベースとなるガラス片に様々な色や形、文様のパーツをレイアウトして、小さなストラップを制作する。焼成は後日講師が行う。フュージングという、電気炉でガラスを熔着する技法を体験する。 今年度は新たに3種類のフュージング講座を用意している。 講師：相原ガラスフュージング千の花	○工芸美術PRパンフレットを配布 ○工芸美術館整備に向けて、アンケートを実施	○チラシ(庁内印刷)	高橋齊藤
	5 粘土から作るMy茶碗 My箸置	2022年8月7日(日) (1日2回×1日) 市民フォーラム	回転台を使った玉つくりで自分の茶碗を作り、あわせて手びねりの箸置きをつくる。 博物館・美術館になじみのない市民にも気軽に参加していただくとともに、町田市が所蔵する工芸美術作品の魅力を紹介し、工芸美術館整備事業をPRする。	○館蔵陶磁器の紹介 ○工芸美術PRパンフレットを配布 ○工芸美術館整備に向けて、アンケートを実施	○チラシ(庁内印刷)	高橋新井
	6 スープ皿を作ろう	2022年11月(1日2回×1日) 市内コミュニティセンター	紐作りの技法で一人ひとつスープ皿を制作する。博物館・美術館になじみのない市民にも気軽に参加していただくとともに、町田市が所蔵する工芸美術作品の魅力を紹介し、工芸美術館整備事業をPRする。	○館蔵陶磁器の紹介 ○工芸美術PRパンフレットを配布 ○工芸美術館整備に向けて、アンケートを実施	○チラシ(庁内印刷)	高橋新井

	7	町田の土で皿づくり	2日間の連続講座 2022年8月21日(日) 器作り：市民フォーラム 2022年9月25日(日) 焼成：芹ヶ谷公園	「パーベキューコンロで皿づくり」から名称変更。町田の土から作った粘土を用いて、親子で小皿を制作する。乾燥後、芹ヶ谷公園で、簡易な窯を使って焼成する。芹ヶ谷公園の新たな利用方法を提案するとともに、工芸美術館整備事業をPRする。	○館蔵陶磁器の紹介 ○工芸美術PRパンフレットを配布 ○工芸美術館整備に向けて、アンケートを実施	○チラシ (庁内印刷)	新井 齊藤
	8	幼児向けやきもの体験 お皿にもようをつけよう	2022年9月18日(日) (1日2回×1日) 子どもセンターまあち	今年度から開催する未就学児向けの新講座。親子で平皿を作り、スタンプや葉っぱ、絵の具で模様を付ける。博物館・美術館になじみのない市民にも気軽に参加していただくとともに、町田市が所蔵する工芸美術作品の魅力を紹介し、工芸美術館整備事業をPRする。	○館蔵陶磁器の紹介 ○工芸美術PRパンフレットを配布 ○工芸美術館整備に向けて、アンケートを実施	○チラシ (庁内印刷)	高橋 新井 齊藤
ブ ー ス 出 店	1	ゆうゆう版画美術館まつり	2022年10月23日(日) 芹ヶ谷公園	市民が多数集まる催事でブース出店し、体験講座の開催やポスター展示などを通じて工芸美術館整備事業のPRを行う。	○体験講座「陶片ペンダントをつくらう」 ○工芸美術PRパンフレットを配布	—	齊藤 新井 高橋

資料2-2

2022年度中に開催予定の事業（2022年7月～2023年3月）

●展示

(1) 【パネル展】(仮称) 町田のお酒×酒器 —町田市立博物館所蔵品より—



中央図書館での展示の様子（2021年度）



ロケ地 町田市指定文化財 村野常右衛門生家



出展予定の作品 藍釉の酒器

(2) 岩田色ガラスの世界—岩田藤七・久利・糸子—ベストセレクション展



「岩田色ガラスの世界」展 国際版画美術館でのガラス展示（2021年度）
（2021年度）



岩田藤七《貝「波の響」》



ガラスに花を生けた様子
（2021年度）

(3) 【パネル展】体験講座成果展 2022



イベントスタジオでの展示の様子（2021年度）



掲示したパネル（2021年度）



●体験講座（写真は過去に開催した同様の講座あるいはイメージを掲載）

(1) 子どもセンターでガラス体験



彫っている様子



完成した作品



彫っている様子



完成した作品

(3) 吹きガラスに挑戦!



溶けたガラスを棹で取る



完成した作品

(4) ガラスフュージング体験



①ストラップ



②ブローチ



③皿

(5) 粘土から作る My 茶碗 My 箸置



手びねりで形を作る



完成した作品

(6) スープ皿を作ろう



紐作りで形を作る



完成した作品

(7) 町田の土で皿づくり



芹ヶ谷公園で作品を焼いている様子



窯から出したばかりの作品

(8) 幼児向けやきもの体験 お皿にもようをつけよう



講師による見本制作の様子



講師が制作した完成見本

資料3

(仮称) 公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟
基本計画概要(案)

(仮称) 公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟の基本計画策定の背景

すべてにおいてオンライン化が進む今、人々の関心は、モノの消費からコトの消費へと変わってきています。体験や経験に価値を感じ、それをだれかと共有しともに楽しむこと。その体験が気軽に楽しめるものであったり、「ここでなきゃ」と思えるものであること、それが人々を惹きつけます。

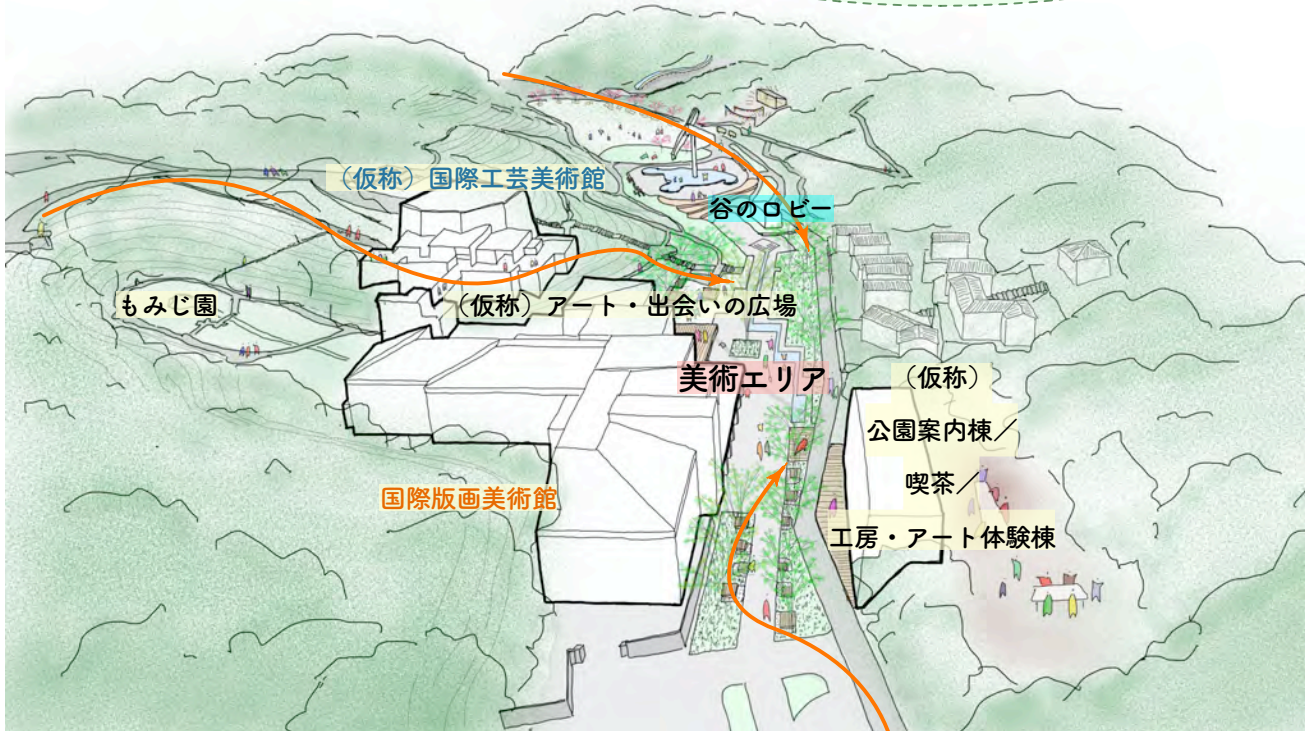
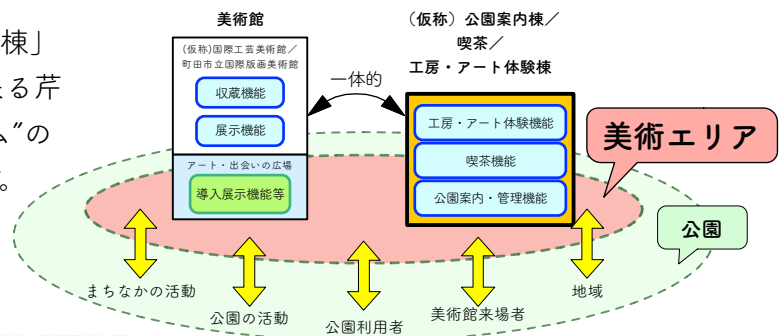
公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟は、パークミュージアムへの玄関口であり、公園来園者、施設利用者、周辺地域の方々などを始め、パークミュージアムに興味を持つ全ての人々へ開かれた施設です。

豊かなみどりと二つの美術館を望むように建つ建物は、施設内の雰囲気が外部からも感じられ、人の活動の様子や雰囲気を体感できます。「自分も工房を利用してみよう」「自分も芹ヶ谷公園に繰り出して何か新しいことをやってみよう」といった興味・関心・感動の“種”を育て、心を養うきっかけづくりができる空間となります。

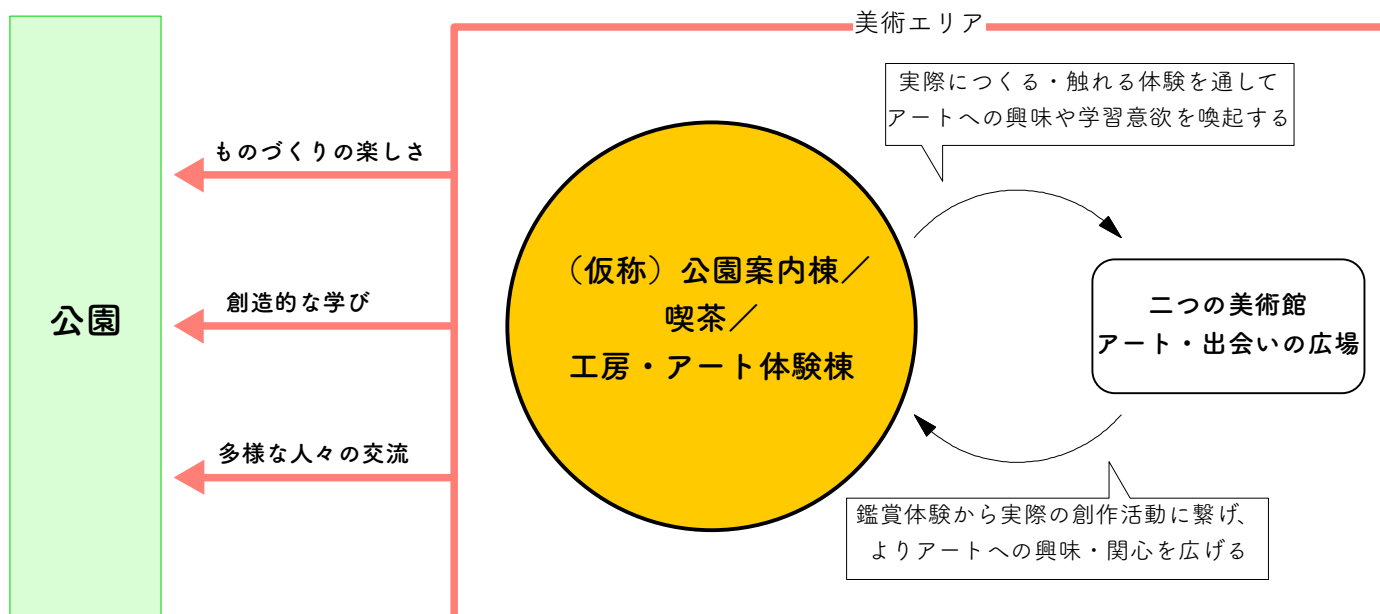
そして、この建物から、人々が“種”をもって芹ヶ谷公園へ行くことで、自分だけのお気に入りの場所で寛ぐ、広場で遊ぶ、みどりを感じながら創作活動に打ち込む、芹ヶ谷公園ならではのアートを発見するなど、色とりどりのアートや活動が芽吹き、素敵な風景が公園全体に広がっていきます。

また、1987年の開館以来、国際版画美術館は「鑑賞」「創作」「発表」の機能を一体的に提供するという役割を担ってきました。版画に加えてガラスや陶磁器などの制作もできる新しい工房と二つの専門美術館とを密接に連携、一体化させることで、これまでの役割をより発展・継承させていきます。

「(仮称)公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟」は、この場所ならではの体験や過ごし方が出来る芹ヶ谷公園、みんなで作る“パークミュージアム”の実現にふさわしい拠点となることを目指します。



(仮称) 公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟の理念・指針について



▶施設のコンセプト

子どもから大人まで、「アート」の楽しさ、「創造」の喜び、「滞在」の心地よさを体験できる、パークミュージアムの玄関口

パークミュージアムの美術エリアにおける創作や体験を担う拠点として、工房機能を中心に、多様な世代の人々がアートに触れ合うことができる様々な機会を提供していきます。また、パークミュージアムの総合案内や美術エリアにおける創作・体験活動が集約した玄関口として、アートや芹ヶ谷公園の情報・魅力を提供していきます。

▶施設のミッション 施設の普遍的な目的について

子どもから大人まで、楽しみながら創作活動に取り組むことで、創造的な文化を育み、発展させていく。

パークミュージアムでは、町田ならではの魅力的な文化と出会える取り組みを展開していきます。

そのなかでも、(仮称)公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟は、特に版画・ガラス・陶芸などの創作活動を通じて、創造的な営みとしての文化を育て、次代に繋いでいくことを目指します。

ふらっと立ち寄ってみたいくなる居心地の良い空間と、多様な人々の活動や様々な体験を肌で感じることができる空間を提供し、ここに来るだけで、誰もががつながるきっかけを得られる。

園内にある施設と連携し、飲食機能をはじめとした魅力的な滞在空間を創出していきます。

また、公園と美術館を楽しむためのサポート運営も充実させ、様々な人の公園における利用ニーズと、活動やアート体験を通じた多様なアート・カルチャーの機会を体現し、活動の輪を地域に還元していくことを目指します。

▶施設のビジョン 施設によって実現したい目標について

- 【創作】** 1. 誰もががものを作る楽しさを体験できる
- 【学び】** 2. 誰もが創造的な活動から学びを得られ、成長することができる
- 【居場所】** 3. 誰もが気軽に訪れる場所となり、美術や自然に囲まれた時間を過ごすことができる
- 【交流】** 4. 創造的な活動を通して、多様な人々が交流できる
- 【共生】** 5. 多様な価値観を認め合う共生社会の実現に寄与できる

工房・アート体験機能

主な機能：版画工房、陶芸体験スペース、ガラス体験スペース、アトリエ

1 ● 誰もがものを作る楽しさを体験できる場を提供します。

工芸や版画などの制作活動を初めて行う人でも、子どもから大人まで誰もが制作でき、ものを作る楽しさに触れることができる機会と場を提供します。

2 ● 利用者が快適に作品を制作でき、スキルを高められる場を提供します。

版画美術館のコンセプトの一つである“作る”機能を代表する、日本でも数少ない本格的な設備が備わった版画工房としての価値を継承・発展させ、利用者が快適に制作活動を行うことができる場を提供します。

3 ● 多様な人々の創作意欲を喚起します。

創作活動の場が広く開かれ、公園や施設の利用者から制作活動の様子が“見える”ことで、版画や工芸の制作への関心を高めたり、市民の創作意欲を喚起するきっかけ作りに取り組みます。

活動イメージ



親子で参加できるものづくりの体験の場になります。



現在の版画工房機能を引継ぎ、本格的な制作活動ができる場になります。



公園からのアクセスがよく、活動が外から見えることで、より多くの人々が制作活動に触れる機会を持つことができます。

喫茶機能

主な機能：喫茶（店内飲食、テイクアウト）、障がい者の働く場

1 ● 誰もが気軽に訪れることができる居場所を提供します。

公園でより快適に過ごすための、休憩や情報収集の場所、または活動の場所として誰もが気軽に訪れ、利用することができる“居場所”としての空間を提供します。

2 ● 多様な人々が交流できる場を提供します。

客席スペース・飲食提供などを通じて、多様な人々同士の繋がりやコミュニケーション、コミュニティなどの交流の場の提供やサポートを担います。

3 ● パークミュージアムの他の機能と連携し、賑わいを創出します。

工房・アート体験機能との連携だけでなく、美術館や公園でのさまざまな活動と連動した飲食機能の運用を行うことで、賑わい創出に寄与します。

活動イメージ



誰もが気軽に訪れることができ、活気溢れるコミュニティの場所になります。



多様な人たちが活躍・交流できる場として喫茶を運用します。



テイクアウト飲食提供やテラス席の設置を行うことでパークミュージアムを楽しむための拠点としての役割を果たします。

公園案内・運営機能

主な機能：パークミュージアム運営事務所

1 ● 公園で居心地良くを過ごすためのサポートを提供します。

パークミュージアムの入り口（窓口）として、受付や施設案内をはじめとした様々な対応や、利用者が居心地良く、公園で日常を過ごせるようなサポートを行います。

2 ● 多様な人々がつながり、一緒にパークミュージアムを盛り上げていくためのマネジメントを行います。

公園来園者・施設利用者や周辺地域の方々など、多様な人々が訪れ、活躍し、互いにつながっていく居場所となる運営を行います。

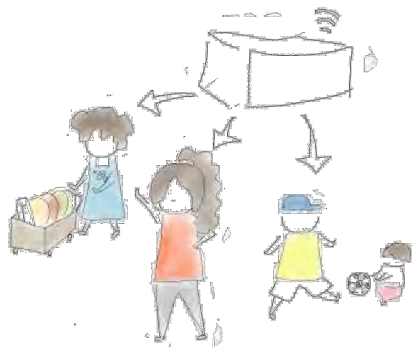
3 ● パークミュージアムの活動を発信し、地域とつながる取り組みを推進します。

パークミュージアムで生まれる様々な活動を、公園内だけでなく、まちなかにも発信していくことで、公園や施設に来る方だけでなく周辺にお住まいの方々や駅前地域との連携を推進します。

活動イメージ



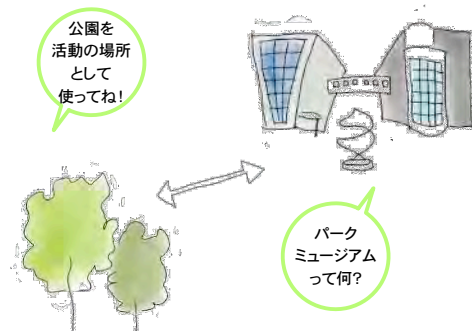
パークミュージアムで行われるさまざまな創作活動・アート体験等の「公園で〇〇したい」を実現する機会を創出します。



多様な人たちが活躍・交流できる場としてパークミュージアムをマネジメントします。



日常的に公園を使いたくなるサービスを提供し、パークミュージアムの情報発信や案内を行うことで多くの利用者が満足できる施設にします。



パークミュージアムの情報や案内だけでなく、人々の活動の様子も発信することで興味のタネをまき、地域とつながる取り組みを推進します。

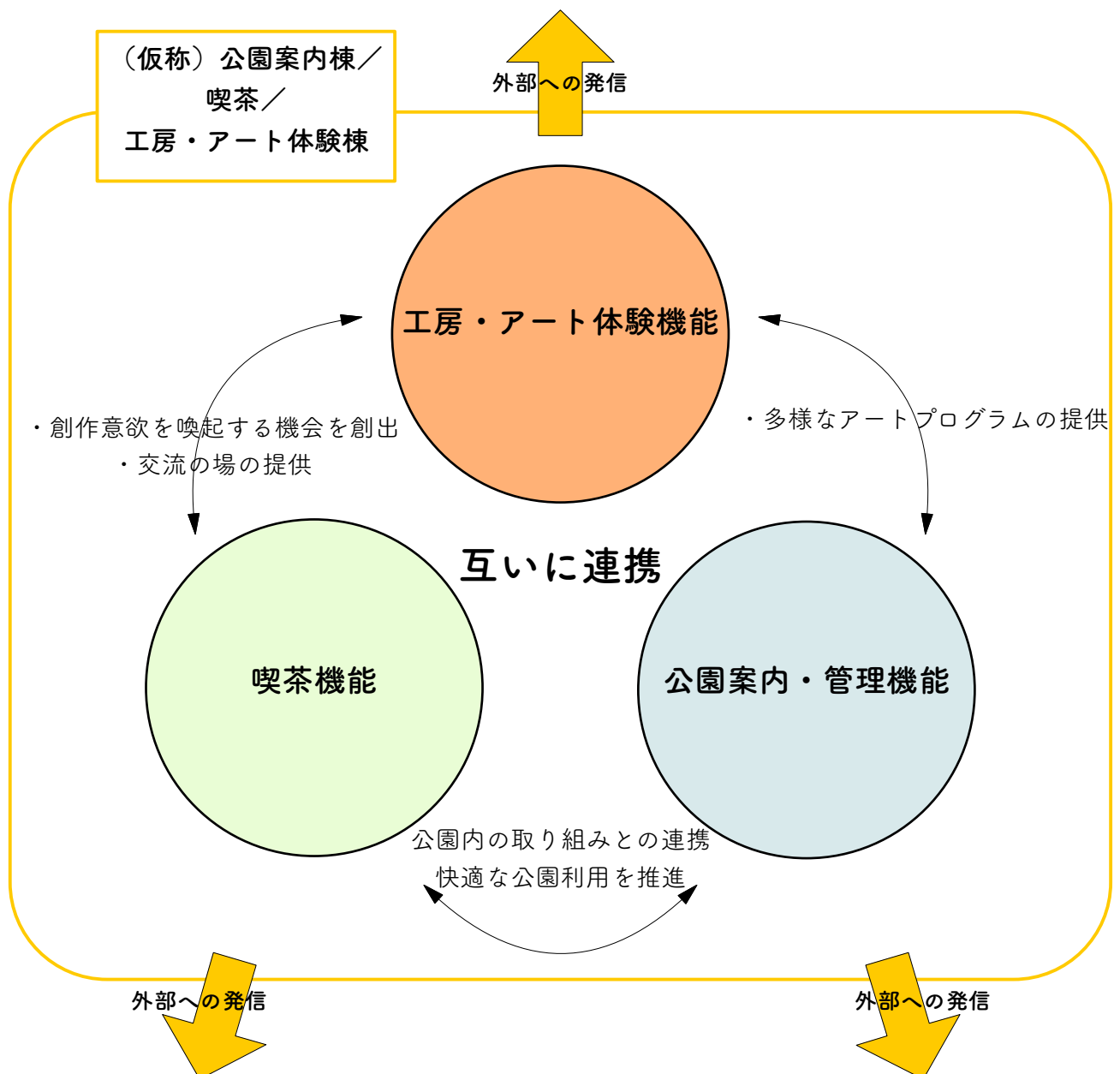
各機能の連携ダイアグラム

(仮称)公園案内棟／喫茶／工房・アート体験棟がもつ3つの機能は、お互いに連携し、相乗効果を引き出します。

例えば喫茶から工房が眺められることで創作活動に興味を持ってもらうきっかけを作りやすくしたり、パークミュージアム運営機能が施設内にあることで、公園での飲食企画の展開に対して柔軟に対応が可能になるなど、創造的な体験や学びを、今まで以上に芹ヶ谷公園に波及していきます。

その特徴を引き出すために、建物内のゾーニングは3つの機能が連携しやすいものとして計画を行います。

美術館と連携し、多くの創造的な体験の機会を提供



パークミュージアムをより多くの人々が気軽に利用できるよう、サービスやサポートを提供

パークミュージアムで行われる多様なプログラムの企画・発信

パークミュージアムと一体の自然環境を感じられる創作体験拠点

施設には多くの人々が行き交うように、公園と施設内が一体的な回遊性を作り出す計画を検討していきます。また、風や光が抜けていく、芹ヶ谷公園の豊かな自然環境を感じられるような建築となるよう検討を進めていきます。

1：公園の入り口となる開かれた場所

芹ヶ谷公園のエントランスの一つとして、来園者が気軽に訪れられるよう、内部の活動が外からも見える等の工夫を行い、周辺に対して開かれた配置とします。

2：美術館との一体的なエリアの形成

美術館や公園との連携を意識した配置とすることで、人々が施設間を行き交い賑わう、美術エリアを形成します。

3：緑豊かな公園環境に馴染んだ建ち現れ方

緑豊かな公園に馴染み、周辺環境から浮いたものにならないボリューム感として、建物全体が建ち現れるよう配慮を行います。

ガラスと陶芸の体験機能について

1 対象年齢とレベル

- ・年齢：子どもから大人まで
- ・レベル：初級～中級



工芸に興味を持つ人のすそ野を広げます。
ものづくりを希望する人への情報センターとしての
役割を担います。

2 取り扱う主な技法および工程（想定）

(1) ガラス

①主な技法

- ・バーナーワーク（ガスバーナーを使用） 例：とんぼ玉
- ・キルンワーク（電気炉を使用） 例：フュージング
- ・コールドワーク 例：カット、グラヴィール、サンドブラスト、ステンドグラス

(2) 陶芸

①主な技法

手びねり／手回しろくろ／電動ろくろ／絵付

②制作工程

やきものの制作工程のうち、成形あるいは絵付部分のみを体験工房で実施し、それ以外の工程については、講師が自身の工房で行うことを想定しています。

【やきものの制作工程例】

土づくり→成形→素焼き→(下絵付)→施釉→本焼き→(上絵付)→完成

手びねり、手回しろくろ、
電動ろくろ など



体験工房で行う工程の想定

3 主な設備（想定）

(1) ガラス

- ・ガスバーナー
- ・電気炉 小中規模
- ・カット機
- ・サンドブラスター

※炉の設置は想定していない。

(2) 陶芸

- ・手回しろくろ
- ・電動ろくろ

※陶芸窯の設置は想定していない。

粘土や釉薬も体験工房には置かず、講師に都度持込んでもらうことを想定。

成形が済んだ作品も、体験工房には置かず、講師が自身の工房に持ち帰り、乾燥→焼成を行うことを想定している。

資料4
2023年度の事業予定

展示3件、体験講座10件、大学連携2件、ブース出店3件

種別	事業名	会期・開催場所	企画概要	関連事業（予定）	印刷物	担当学芸員
展示	【パネル展】 （仮称）いけばな×花器展 —町田市立博物館所蔵品より—	2023年秋～冬 2週間を予定 町田市立中央図書館 展示コーナー	町田華道協会の先生方の手によるいけばなとともに、町田市立博物館が所蔵する陶磁器・ガラス作品を市内外に広く紹介する。また作品が実際に使われる姿を示すことで、工芸作品の持つ実用性にスポットを当て、工芸美術への理解と関心を深める。 協力：町田華道協会	○花を生けた花器（博物館所蔵作品）などの写真を掲載した小冊子を作成、配布 ○工芸美術PRパンフレットを配布	○チラシ（庁内印刷） ○小冊子（外注）	高橋 新井 齊藤
	（仮称）町田市立博物館所蔵作品& 多摩クラフト協会作家作品コラボ展	2023年1月31日～2月12日 町田市立国際版画美術館 市民展示室A・B室	多摩クラフト協会作家の作品と町田市立博物館の所蔵品を、一定のテーマに基づいて併せて展示する。またDMハガキのデザインについては、大学生を対象としたコンペを実施して決定する。 協力：多摩クラフト協会	○工芸美術PRパンフレットを配布	○DMハガキ（外注）	新井 齊藤
	【パネル展】 体験講座成果展2023	2023年冬 2週間 町田市役所イベントスタジオ	2023年度に開催した体験講座について、参加者が制作した作品および制作風景などを、写真パネルで紹介する。本庁舎イベントスタジオで展示を行い市内に広く紹介する。町田市が所蔵する工芸美術作品の魅力を紹介し、工芸美術館整備事業をPRする。	○工芸美術PRパンフレットを配布	○チラシ（庁内印刷）	高橋 齊藤
体験講座	子どもセンターでガラス体験	2023年7～8月（1日2回×5日） 市内子どもセンター5か所	ガラスのコップにペン型の回転工具で各自の好きな文様を彫り、ガラスの硬さや素材としての面白さを体験する。子どもを対象とし、「子どもと体験」をキーワードにしている（仮称）町田市立国際工芸美術館整備への期待感を高めることを目的とする。	○工芸美術PRパンフレットを配布 ○工芸美術館整備に向けて、アンケートを実施	○チラシ（庁内印刷）	高橋 齊藤
	ガラスに彫ってみよう！	2023年1～2月（1日2回×1日） 町田市立国際版画美術館 アトリエ	ガラスのコップにペン型の回転工具で各自の好きな文様を彫り、ガラスの硬さや素材としての面白さを体験する。博物館・美術館になじみのない市民にも気軽に参加していただくとともに、町田市が所蔵する工芸美術作品の魅力を紹介し、工芸美術館整備事業をPRする。	○工芸美術PRパンフレットを配布 ○工芸美術館整備に向けて、アンケートを実施	○チラシ（庁内印刷）	高橋 齊藤
	吹きガラスに挑戦！	2023年度中（1日3回×3日） 芹ヶ谷公園 多目的広場	車に積んだ移動式の炉を持つ作家の協力の下、吹きガラス制作を体験する。美術工芸になじみのない市民にも気軽に体験できる機会を提供し、工芸美術館整備事業に対する期待感を高める。	○工芸美術PRパンフレットを配布 ○工芸美術館整備に向けて、アンケートを実施	○チラシ（庁内印刷）	高橋 齊藤
	ガラスフュージング体験	2023年度中（1日5回×2日） （1日3回×1日） 町田市立国際版画美術館 アトリエ	ベースとなるガラス片に様々な色や形、文様のパーツをレイアウトして、小さなストラップを制作する。焼成は後日講師が行う。フュージングという、電気炉でガラスを熔着する技法を体験する。ストラップ以外の制作も検討中。 講師：相原ガラスフュージング千の花	○工芸美術PRパンフレットを配布 ○工芸美術館整備に向けて、アンケートを実施	○チラシ（庁内印刷）	高橋 齊藤
	粘土から作るMy茶碗 My箸置	2023年度中（1日2回×1日） 市内各市民センター・ コミュニティセンター	回転台を使った玉つくりで自分の茶碗を作り、あわせて手びねりの箸置きをつくる。博物館・美術館になじみのない市民にも気軽に参加していただくとともに、町田市が所蔵する工芸美術作品の魅力を紹介し、工芸美術館整備事業をPRする。	○館蔵陶磁器の紹介 ○工芸美術PRパンフレットを配布 ○工芸美術館整備に向けて、アンケートを実施	○チラシ（庁内印刷）	高橋 新井
	スープ皿を作ろう	2023年度中（1日2回×1日） 市内各市民センター・ コミュニティセンター	紐作りの技法で一人ひとつスープ皿を制作する。博物館・美術館になじみのない市民にも気軽に参加していただくとともに、町田市が所蔵する工芸美術作品の魅力を紹介し、工芸美術館整備事業をPRする。	○館蔵陶磁器の紹介 ○工芸美術PRパンフレットを配布 ○工芸美術館整備に向けて、アンケートを実施	○チラシ（庁内印刷）	高橋 新井

	7	町田の土で皿づくり	2023年度中 2日間の連続講座 (1日2回×2日) 市民センター等・芹ヶ谷公園	町田の土から作った粘土を用いて、親子で小皿を制作する。乾燥後、芹ヶ谷公園で簡易な窯を使って焼成する。芹ヶ谷公園の新たな利用方法を提案するとともに、工芸美術館整備事業をPRする。	○館蔵陶磁器の紹介 ○工芸美術PRパンフレットを配布 ○工芸美術館整備に向けて、アンケートを実施	○チラシ (庁内印刷)	高橋 新井
	8	幼児向けやきもの体験 お皿にもようをつけよう	2023年度中 (1日2回×1日) 市内各市民センター・ コミュニティセンター	未就学児向けの講座。親子で平皿を作り、スタンプや葉っぱ、絵の具で模様を付ける。博物館・美術館になじみのない市民にも気軽に参加していただくとともに、町田市が所蔵する工芸美術作品の魅力を紹介し、工芸美術館整備事業をPRする。	○館蔵陶磁器の紹介 ○工芸美術PRパンフレットを配布 ○工芸美術館整備に向けて、アンケートを実施	○チラシ (庁内印刷)	高橋 新井
	9	(仮)陶磁器講座中級編：タンブラーを作ろう	2023年度中 (1日2回×1日) 市内各市民センター・ コミュニティセンター	2023年度から開催する新講座。紐作りの技法で一人ひとつタンブラーを制作する。粘土を立ち上げるのがやや難しいため、中級編に相当する講座。博物館・美術館になじみのない市民にも気軽に参加していただくとともに、町田市が所蔵する工芸美術作品の魅力を紹介し、工芸美術館整備事業をPRする。	○館蔵陶磁器の紹介 ○工芸美術PRパンフレットを配布 ○工芸美術館整備に向けて、アンケートを実施	○チラシ (庁内印刷)	高橋 新井
	10	(仮)はじめての蒔絵体験	2023年度中 (1日1回×1日) 市内各市民センター・ コミュニティセンター	2023年度から開催する新講座。平らな小皿にかぶれない合成漆と代用金粉を用いて蒔絵をする。美術工芸になじみのない市民にも気軽に体験できる機会を提供し、工芸美術館整備事業に対する期待感を高める。	○工芸美術PRパンフレットを配布 ○工芸美術館整備に向けて、アンケートを実施	○チラシ (庁内印刷)	高橋 齊藤
大学連携	1	玉川大学 連携事業成果発表会	2023年7月 (1日間) 町田市立国際版画美術館 講堂	内容は今後調整。	—	—	齊藤 新井
	2	町田市立博物館所蔵品 多摩クラフト協会コラボ展 案内ハガキデザインコンペ	2023年7～8月	「多摩クラフト協会コラボ展」について、案内ハガキの表面デザインを大学生を対象として募集する。	—	—	高橋 齊藤
ブース出店	1	町田さくらまつり	2023年4月 (2日間) 芹ヶ谷公園	市民が多数集まる催事でブース出店し、体験講座の開催やポスター展示などを通じて、工芸美術館整備事業のPRを行う。	○体験講座「吹きガラスに挑戦！」 ○工芸美術PRパンフレットを配布	—	齊藤 高橋
	2	小野路やまいち	2023年4～5月 (1日間) 家具工房KASHO前広場	市民が多数集まる催事でブース出店し、体験講座の開催やポスター展示などを通じて工芸美術館整備事業のPRを行う。	○工芸美術PRパンフレットを配布	—	齊藤 新井 高橋
	3	ゆうゆう版画美術館まつり	2023年10月 (1日間) 芹ヶ谷公園	市民が多数集まる催事でブース出店し、体験講座の開催やポスター展示などを通じて工芸美術館整備事業のPRを行う。	○工芸美術PRパンフレットを配布	—	齊藤 新井 高橋